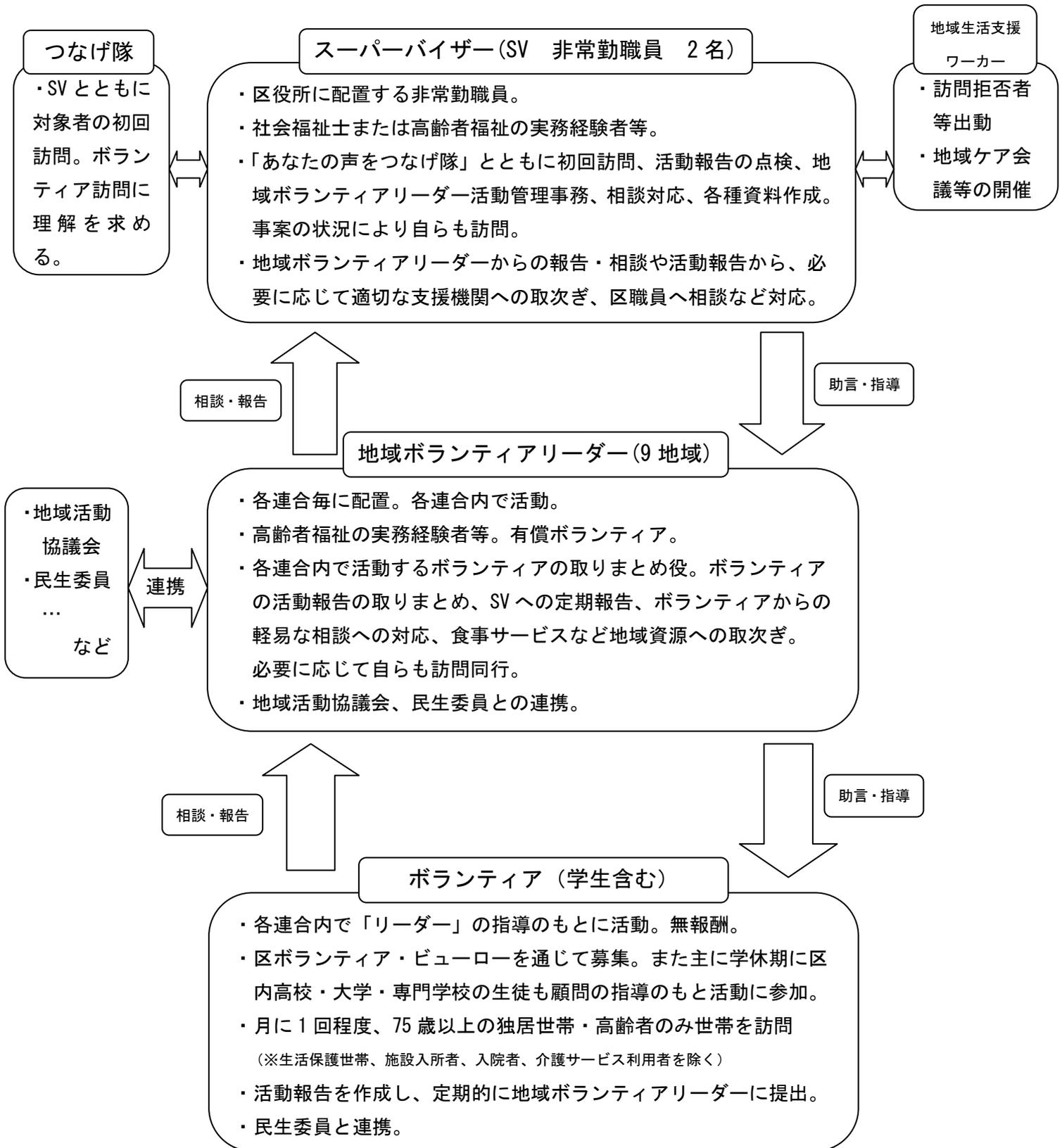


「独居高齢者等見守りサポーター事業」役割分担等説明資料



「独居高齢者等見守りサポーター事業」スケジュール(イメージ)

天王寺区役所作成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ボランティア	◎ SV配置	準備業務	◎ 研修		学生ボランティア参加				学生ボランティア参加			学生ボランティア参加
ボランティア	ボランティア募集		◎ 研修	随時募集・研修								
第1グループ	特に支援を要するケースに対し、地域包括支援センター・ランチで支援		第1グループの各地域での取組			継続的なボランティアによる訪問(3月以降も継続)						
第2グループ	特に支援を要するケースに対し、地域包括支援センター・ランチで支援					第2グループの各地域での取組			継続的なボランティアによる訪問(3月以降も継続)			
第3グループ	特に支援を要するケースに対し、地域包括支援センター・ランチで支援								第3グループの各地域での取組			

○事業名称

独居高齢者等見守りサポーター事業

○事業背景、課題

高齢化の進展と独居高齢者、高齢者のみ世帯の増加に伴い、地域資源や各種福祉・介護サービスから孤立した高齢者が増えており、外部の目が入らないことで虐待などの問題が深刻化し、発見が遅れることで十分な対応が取れない。

○事業概要

- ・ 75歳以上の独居世帯、75歳以上で構成される世帯すべて（ただし介護サービス利用世帯・生活保護受給世帯など、定期的な外部の見守りが入っているケースを除く）を対象に、ボランティア（一般の方・学生等）による定期的な個別訪問を実施。医療・介護・虐待対応等を要する者の早期発見、早期対応を図る。
- ・ ボランティアを統括する地域ボランティアリーダーを各地域ごとに地域活動協議会などで選出。各地域で活動するボランティア（一般の方・学生等）からの相談に応じるほか、記録・相談などから支援を要するケース・問題を抱えたケースなどについて、区職員（非常勤職員 SV）に相談し、必要な支援が行われるようつなぐ。
- ・ ボランティアを統括する SV（非常勤職員）を区役所に配置。地域ボランティアリーダーからの相談対応、記録の点検、資料作成などにあたるほか、事案の状況に応じて適切な機関へ取り次いだり、自らボランティアや区職員とともに訪問したりするなど必要な対応にあたる。

○事業効果

- ・ 独居高齢者、高齢者のみ世帯に外部の目が入ることで、当該世帯の抱える課題が早期に明らかになり、対応の選択肢が増し支援者による有効な支援につながることを期待できる。
- ・ また、定期的な見守りを行うことで、必要に応じて医療・介護サービスにつなげ、少しでも長く住み慣れた天王寺区で暮らせることができるとともに、安否の確認も行うことから、孤立死を減少させる効果も期待できる。